

別 表
-----

(1) 冊子版「航空と文化」No.119、120号目次

## 119号(夏季号)

- ・会長就任にあたって 日本航空協会会長 篠辺 修
- ◇特集 空の移動革命の実現に向けて
  - ・空の移動革命とその実現に向けた政府の取り組み  
経済産業省 航空機武器宇宙産業課 課長補佐 海老原史明
  - ・On Demand Air Mobility の実現に向けて  
ヤマトホールディングス株式会社 eVTOLプロジェクトチーフ  
R&Dスペシャリスト 伊藤 佑  
ベルヘリコプター株式会社 営業部長 正村卓也
  - ・エアバスアーバンエアモビリティ (Airbus UAM) が拓く未来  
エアバス・ジャパン株式会社 Strategy & Marketing Manager 小原 豪
  - ・飛生き物の遊泳  
東京大学 名誉教授 東 昭
  - ・東京大学駒場Ⅱ キャンパス1号館 (旧東京帝国大学航空研究所風洞部建物) 三米風洞  
を重要航空遺産として認定  
日本航空協会 航空遺産継承基金事務局
  - ・2019青少年航空宇宙絵画国際コンテスト (2019FAIヤングアーティストコンテスト国内予選)  
日本航空協会
  - ・一般財団法人日本航空協会 平成30年度事業報告および令和元年度事業計画  
日本航空協会

120号 (新春号)

- ・新年のご挨拶 日本航空協会 会長 篠辺 修
- ◇特集 ANAのA380とJALのA350、新機種導入に秘められた戦略を探る！
  - ・ANA A380 ワクワクする客室仕様とハワイ戦略について  
全日本空輸株式会社 CEマネジメント室商品企画部 マネジャー 牧 克亘
  - ・日本航空のエアバスA350型機について  
日本航空株式会社 経営企画本部 経営戦略部  
機材グループ長/A350導入準備室長 木村卓爾
  - ・日本版GPS—準天頂衛星と静止衛星による測位システムの考案と高精度測位技術  
日本航空宇宙学会 理事 宇宙航空研究開発機構 第一宇宙技術部門 主幹研究開発員  
河野 功
  - ・エルゲン ロング機長による単独世界記録飛行に立ち会って  
元日本航空協会参事/元FAI Official Observer 佐藤一郎
  - ・Red Bull Air Race World Championship 室屋選手の千葉大会優勝でフィナーレ  
日本航空協会常務理事 文化情報室室長 山田圭一
  - ・令和元年度「空の日」 航空関係者表彰式  
日本航空協会

(敬称略)

(2) WEB版「航空と文化」

掲載日	タイトル	執筆者
2019. 4.9	宇宙探査から発するイノベーション ～「はやぶさ」 「はやぶさ2」小惑星探査機の事例～	國中 均
2019. 5.13	無人航空機が拓く未来～JAXAにおける実用化に 係る研究開発と社会状況～	石川 和敏
2019. 6.14	FAI世界記録飛行に立ち会って ～1971年1月22 日、米海軍P-3Cの距離記録挑戦の思い出～	佐藤 一郎
2019. 7.12	日本の人力飛行機の初飛行50周年記念・座談会 ～人力飛行機リネットを語る～	日本大学リネット製 作チーム
2019. 8.9	名機を生んだ設計者の「閃き」	鳥養 鶴雄
2019. 9.13	空の冒険者・民間パイロット 国内最初の犠牲者 武石浩玻の軌跡	佐々木 靖章
2019. 10.18	超小型衛星が切り拓く宇宙開発のフロンティア	船瀬 龍
2020. 3.13	最近の民間エンジンの特徴と技術動向	西川 秀次

(敬称略)



別表 3

1) 日本で開催したFAI国際競技会 (FAI Category I、II ※日本選手権を除く)

種 目 (名 称)	選手権者名	開 催 日	場 所	参加数	日本人 成績
1. 模型航空機 Drone Tokyo 2019 Racing & Conference (FAI Category I)	岡 聖章	2019. 11. 01 ～02	東京都 江東区	44名	
2. ハング・パラグライディング 第15回池田山カップ (FAI Category II)	総合 Christian Ciech(ITA) 女子 鳥海 真弓	2019. 08. 15 ～18	岐阜県 揖斐郡	58名	-
2019 Hang Gliding Class V East Japan Championship (FAI Category II)	総合 塩野 正光	2019. 10. 12 ～14	茨城県 石岡市	14名	-
2019スカイグランプリ in 吉野川 (FAI Category II)	総合 森川 寿幸 女子 望月 奈緒	2019. 11. 02 ～04	徳島県 三好郡	82名	-
西富士ジャパクラシック2020 (FAI Category II)	総合 田中 元気 女子 櫻井 さやか	2020. 1. 11 ～13	静岡県 富士宮市	43名	-
ハンググライディング紀の川 スカイグランプリ2020 (FAI Category II)	総合 名草 慧 女子 野尻 知里	2020. 2. 21 ～24	和歌山県 紀の川市	51名	-

2) 公認した日本選手権

種 目 (名 称)	選手権者名	開 催 日	場 所	参加数
1. 模型航空機 F1A フリーフライト・グライダー F1B フリーフライト・ゴム動力機 F1C フリーフライト・エンジン機	和田 光信 中田 光恭 江連 明夫	2019. 11. 02 ～04	千葉県旭市	5名 19名 5名
F1D フリーフライト・室内機	上本 武雄	2019. 09. 21 ～22	長野県松本市 やまびこドーム	12名
F2B コントロールライン・曲技	能米 昭一郎	2019. 9. 06 ～08	岐阜県高山市 飛騨エアパーク	56名
F3A ラジオコントロール・曲技	音田 哲男	2019. 08. 28 09. 01	福島県須賀川市 浜尾地内多目的広場	40名
F3B ラジオコントロール・ グライダー	台風で会場が使用出来なくなり開催中止			
F3C ラジオコントロール・ ヘリコプター	伊藤 寛規	2019. 10. 03 ～06	栃木県宇都宮市 宇都宮RCクラブ 岡本飛行場	42名

F3D	ラジオコントロール・ パイロンレーシング	佐藤 義則	2019.09.20 ～22	三重県伊賀市 K F C 飛行場	18名
F3J	ラジオコントロール・ 手曳航グライダー	粟田 好浩	2019.05.17 ～19	埼玉県児玉郡上里町 模型グライダー場	23名
F3K	ラジオコントロール・ ハンドランチグライダー	台風で会場が使用出来なくなり開催中止			
F4C	ラジオコントロール・ スケール	埴 隆之	2019.10.05 ～06	群馬県太田市 尾島RCスカイポート	7名
F4C	ラジオコントロール・ スタンドオフ・スケール	田村 基代治			13名
F5B	ラジオコントロール・ 電動グライダー	小島 洋	2019.10.05 ～06	千葉県野田市 野田市スポーツ公園	18名
F5J	ラジオコントロール・ 電動手曳航グライダー	須田 勲	2019.06.01 ～02	埼玉県児玉郡上里町 模型グライダー場	27名
F9U	ドローンレーシング	高野 奏多	2019.09.07 ～08	福島県双葉町 Jビレッジ	28名
2.	ハング・パラグライディング 2019 パラグライディングアキュ ラシー日本選手権 in 九十九里 (FAI Category II)	総合 菊田 高司 女子 伊藤まり子	2019.11.16 ～17	千葉県山武市 本須賀海水浴場	25名
	2019パラグライディング 日本選手権 (FAI Category II)	悪天候により 不成立	2019.4.26 ～30	石川県白山市 獅子吼高原 スカイレジャーエリア	97名
	2019 ハンググライディング・ クラスV日本選手権 in IBARAKI (FAI Category II)	板垣 直樹	2019.4.12 ～14	茨城県石岡市 足尾山エリア	14名
	2019ハンググライディング 日本選手権 in 足尾 (FAI Category II)	総合 田中 元気 女子 谷古宇瑞子	2019.9.19 ～23	茨城県石岡市	54名

3) 後援した競技会等

種 目 (名 称)	選手権者名	開 催 日	場 所	参加数
1. 熱気球 2019熱気球ホンダ・グランプリ	総合1位 YAZUYA Balloon Team (藤田 雄大)			
第1戦 栃木市・渡良瀬バルーンレース 2019	(藤田 雄大)	2019.04.05 ～07	栃木県栃木市藤岡町 渡良瀬遊水地周辺	36機
第2戦 佐久バルーン フェスティバル2019	(藤田 雄大)	2019.05.03 ～05	長野県佐久市 千曲川スポーツ交流広場	43機
第3戦 一関・平泉バルーン フェスティバル2019	台風の影響により 中止	2019.10.12 ～14	岩手県一関市 一関水辺のプラザ	-
第4戦 2019佐賀インターナショナル・ バルーンフェスタ	(藤田 雄大)	2019.10.31 ～11.04	佐賀県佐賀市 嘉瀬川河川敷	23機
第5戦 鈴鹿バルーン フェスティバル2019	(藤田 雄大)	2019.11.22 ～24	三重県鈴鹿市 鈴鹿川河川緑地 鈴鹿サーキット	36機
第46回 北海道バルーン フェスティバル	チーム雪の舞A (篠田 博行)	2019.08.10 ～12	北海道河東郡上士幌町 上士幌町航空公園	競技機 43機
第44回 おぢや風船一揆	雪不足により 中止	2020.02.22 ～23	新潟県小千谷市 西中会	-
2. 滑空機 (グライダー) 第60回 全日本学生グライダー 競技選手権大会	新型コロナウイルス の影響により中止	2020.03.10 ～15	埼玉県熊谷市 妻沼滑空場	-
第59回 全国七大学総合体育大会 航空の部	新型コロナウイルス の影響により中止	2020.02.26 ～03.04	千葉県関宿町 NPO関宿滑空場	-
第22回 東京六大学対抗 グライダー競技会	個人 山路 優輝 (慶應義塾大学) 団体 慶應義塾大学	2019.08.31 ～09.06	埼玉県熊谷市 妻沼滑空場	6校 30名
第52回 全日本高等学校 滑空選手権大会	個人 鳴村 俊介 (慶應義塾高校) 団体 航空山梨	2019.07.26 ～28	埼玉県熊谷市 妻沼滑空場	2校 10名

4) 選手を派遣した世界選手権、アジア選手権 等

種 目 (名 称)	選手権者名	開 催 日	場 所	参加国	日本人 成績
1. エアロバティック 第10回曲技世界選手権 (滑空機Advanced)	Patrycja Pacak (PLO)	2019.07.17 ～27	デヴァ飛行場 ルーマニア	14カ国 31名	17
2. グライダー (滑空機) 女子世界滑空選手権 (スタンダードクラス)	Sarah Arnold (USA)	2020.01.03 ～18	Lake Keepit 飛行場 オーストラリア	8カ国 16チーム	9
ドイツ選手権 (20mクラス)	Markus Geisen (GER)	2019.07.08 ～19	Stendal飛行場 ドイツ	4カ国 37チーム	31
International Srendal Glide 2019 (18mクラス)	Borje Eriksson (SWE)			10カ国 21チーム	7
3. 模型航空機 F1A フリーフライト グライダー	個人 Brinzoi Constantin (ROU) 団体 ロシア	2019.10.17 ～22	Lost Hills, CA アメリカ	38カ国 103名	32 団体34
F1B フリーフライト ゴム動力機	個人 Mickael Rigault (FRA) 団体 イスラエル			34カ国 97名	54, 87, 88 団体26
F1C フリーフライト エンジン機	個人 Taron Malkhasyn (USA) 団体 リトアニア			23カ国 57名	43, 54 団体18
F1E フリーフライト スロープソアリング グライダー	個人 Kubit Stanisła (POL) 団体 ポーランド	2019.08.25 ～28	Martin スロバキア	13カ国 59名	19 団体13
F3A ラジオコントロール 曲技	個人 Christophe Paysant-Le Roux (FRA) 団体 アメリカ	2019.08.03 ～10	Calcinatello イタリア	30カ国 109名	2, 9, 13, 18 団体2
F3B ラジオコントロール グライダー	個人 Andreas Böhlen (SUI) 団体 スイス	2019.08.04 ～10	Jesenik- Mikulovice チェコ	16カ国 45名	29, 31, 38 団体11
F3C ラジオコントロール ヘリコプター	個人 伊藤 寛規 (JPN) 団体 日本	2019.08.03 ～10	Ballenstedt ドイツ	17カ国 49名	1, 5, 9 団体1
F3D ラジオコントロール パイロンレーシング	個人 Christopher Callow (AUS) 団体 オーストラリア	2019.08.06 ～12	Maryborough Queensland オーストラリア	13カ国 33名	24, 28, 29 団体13
F3K ラジオコントロール ハンドランチグライダー	個人 Henri Sander (GER) 団体 ドイツ	2019.07.03 ～08	Jakabszallas ハンガリー	32カ国 87名	23, 43, 56 団体13
F3P ラジオコントロール 室内曲技	個人 Gernot Bruckmann (AUT) 団体 フランス	2020.03.17 ～23	Heraklion ギリシャ	14カ国 40名	31, 34, 37 団体10



F5D ラジオコントロール 電動パイロンレーシング	個人 Jan Sedláček (CZE) 団体 チェコ	2019. 08. 06 ～12	Maryborough Queensland オーストラリア	10カ国 18名	16, 17, 18 団体5
F5J ラジオコントロール 電動サーマルグライダー	個人 Arijan Hucalju (CRO) 団体 ニュージーランド	2019. 08. 11 ～17	Lermas スロバキア	39カ国 144名	66, 90, 100 団体30
F9U ドローンレーシング	個人 KANG Changhyeon (KOR) 団体 韓国	2019. 12. 11 ～14	Ningbo City 中国	31カ国 111名	27, 46, 54, 71, 103 Jr14 女子5 団体11
4. ハング・パラグライディング 第22回ハンングライディング ・クラス1世界選手権	個人 Alessandro Ploner (ITA) 団体 イタリア	2019. 07. 12 ～27	Fruili- Venezia-Giulia イタリア	29カ国 120名	12, 24, 2 6, 39, 56 , 120 団体5
第10回FAIパラグライディング グアキュラシー世界選手権	個人 Yong Wu (CHN) 団体 インドネシア	2019. 9. 8 ～ 18	Vrsac セルビア共和 国	28カ国 131名	93. 97. 1 22. 126 団体19
第4回パンアメリカン・パ ラグライディング選手権	個人 GLEB SUKHOTSKI (RUS) 団体 ブラジル	2020. 3. 7 ～14	Baixo Guandu ブラジル	20カ国 103名	9 団体9
第16回FAIパラグライディン グ世界選手権	個人 Joachim OBERHAUSER (ITA) 女子 Meryl DELFERRIERE (FRA) 団体 フランス	2019. 8. 5 ～18	Krushevo 北マケドニア	48カ国 150名	7, 54, 75 , 95 団体3

別表 4

1) 記録の公認

1. FAI 国際記録 (FAI より認定された記録)

種 目	氏 名	記 録	飛行年月日・飛行場所・認定日
滑空機 自由三旋点距離 (D15 級/一般)	市川 展	1, 148. 2km	2018. 12. 27 オーストラリア トカモール滑空場 2019. 7. 15
滑空機 自由三角コース距離 (D0 級/一般)	市川 展	1, 116km	2019. 1. 4 オーストラリア トカモール滑空場 2019. 7. 15

2. 日本記録（当協会が認定した記録）

種 目	氏 名	記 録	飛行年月日・飛行場所・認定日
滑空機 自由三旋点距離 (D15 級/一般)	市川 展	1,148.2km	2018.12.27 オーストラリア トカモール滑空場 2019.4.10
滑空機 自由三角コース距離 (D0 級/一般)	市川 展	1,116km	2019.1.4 オーストラリア トカモール滑空場 2019.4.10
熱気球 距離 (AX-4級/一般)	倉重 安見	119.472km	2019.4.30 オーストラリア Northam Airport～Bexley Farm 2019.6.21
熱気球 高度 (AX-4級/一般)	倉重 安見	3,139.44m	2019.4.30 オーストラリア Northam Airport～Bexley Farm 2019.6.21

\* 国際記録は令和元年度に F A I より認定された記録、日本記録は平成31年度及び令和元年度に当協会が認定した記録を記載。

2) F A I スポーティング・ライセンス（2019年1月1日～12月31日）

種 目	F A I スポーティング・ライセンス発行			有効登録者数 (12月31日現在)
	新規発行	更 新	合 計	
熱 気 球	3	8	11	68
人 力 飛 行 機	0	0	0	0
滑 空 機	0	3	3	30
模 型 航 空 機	37	32	69	155
パラシュートティング	0	1	1	10
ハンググライダー (含パラグライダー)	22	60	82	271
マイクロライト/ パラモーター	1	0	1	5
飛 行 機	0	0	0	1
その他 (Rotor craft)	0	0	0	0
合 計	63	104	167	540

3) 資格証の発行数（2019年1月1日～12月31日）

1. 滑空機

種 目	種 目	件 数
1. F A I 国際滑空記章	銀 章 (※認定証のみ)	9 (4)
	金 章 (※認定証のみ)	4 (1)
	ダイヤモンド距離章	2
	ダイヤモンド高度章	1
※ ( ) 内は、内数		

平成22年4月1日より、認定証書のみ発行し、バッジは申請者の選択性とした。	ダイヤモンド目的地章 3ダイヤモンド章 750km章（※認定証のみ） 1,000km以上章	2 0 0（0） 0
2. 飛行成績証明書  ※記章発行（単一科目達成時及び複数科目の最終項目達成時）を除く。	滞空 5時間（5H） 距離 50km（5K） 高度 1,000m（1M） 距離 300km（3K） 高度 3,000m（3M） 目的地 300km（3D） 高度 5,000m（5M） 距離 500km（5D） 距離 750km（7D） 距離 1,000km（10D） 距離 1,500km（15D）	24 8 15 3 8 2 1 2 0 0 0

## 2. 模型航空機

種 目	種 目	件 数
1. 技能証 R/C ヘリコプター  C/L 飛行機	A級	5
	B級	9
	C級	9
	D級	5
	E級	0
	A級	0
	B級	0
	C級	0
	D級	2

## 3. パラシューティング

種 目	種 目	件 数
1. 落下傘降下士技能証	A技能証	0
	B技能証	0
	C技能証（銀）	0
	D技能証（金）	0
2. 国際パラシューティング技能証	A技能証	0
	B技能証	0
	C技能証	0
	D技能証	0

## 別表 5

## 1) 主催事業

名 称	開 催 日	場 所	参加人数
航空スポーツ教室 スカイ・キッズ・プログラム (第44～45回)	2019. 08. 03 ～04	東京臨海広域防災公園 ／東京都江東区	1, 256名
	2020. 01. 26	谷中防災広場 初音の森 ／東京都台東区	62名
こども模型飛行機教室 (全国20箇所、参加者数476名) *参加者数は子供のみ	2019. 04. 06	岐阜かかみがはら航空宇宙博物館 ／岐阜県各務原市	26名 (渡久地政光)
	2019. 06. 16	千葉県立現代産業科学館 ／千葉縣市川市	28名 (石原能行)
	2019. 06. 16	IWC銀座ブティック ／東京都中央区	10名 (田邊義和)
	2019. 07. 06	目黒区立鷹番小学校 ／東京都目黒区	36名 (渡久地政光)
	2019. 07. 31	さいたま市立与野本町公民館 ／埼玉県さいたま市	24名 (松崎真也)
	2019. 08. 03 ～04	東京臨海広域防災公園 ／東京都江東区	120名 (指導員のみ)
	2019. 08. 03	延岡勤労者体育センター ／宮崎県延岡市	32名 (島崎一)
	2019. 08. 22	さいたま市立大砂土公民館 ／埼玉県さいたま市	23名 (和田光信)
	2019. 09. 23	航空科学博物館 ／千葉県山武郡	台風の影響 により中止
	2019. 09. 23	香川県航空模型協会専用飛行場 ／香川県高松市	14名 (吉岡嗣貴)
	2019. 10. 06	桑折町中央公民館 ／福島県伊達郡	21名 (渡久地政光)
	2019. 10. 19	ホンダエアポート ／埼玉県比企郡	75名 (渡久地政光)
	2019. 10. 20	妻沼滑空場 ／埼玉県熊谷市	台風の影響 により中止
	2019. 12. 01	さいたま市立尾間木公民館 ／埼玉県さいたま市	7名 (渡久地政光)
	2019. 12. 01	東京都立産業技術高等専門学校 荒川キャンパス 体育館 ／東京都荒川区	参加者少数 のため中止
2019. 12. 22	本山町立本山小学校 ／高知県長岡郡	10名 (吉岡嗣貴)	

	2020.01.11	千葉県立現代産業科学館 ／千葉県市川市	25名 (石原能行)
	2020.01.26	台東区立谷中小学校 ／東京都台東区	25名 (田邊義和)
	2020.03.07	坂部区民センター ／静岡県牧之原市	新型コロナウイルスの影響により中止
	2020.03.31	岐阜かかみがはら航空宇宙博物館 ／岐阜県各務原市	新型コロナウイルスの影響により中止

2) 共催事業：主催実行委員会構成団体の一員として参画

名 称	開 催 日	場 所	備 考
東日本大震災支援熱気球イベント 第29回「空を見上げて」IN東京	2019.08.03 ～04	東京都江東区 東京臨海広域防災公園	1,256名
第25回 スカイスポーツ シンポジウム (一社)日本航空宇宙学会主催	2019.11.30	都立産業技術高等専門学校 荒川キャンパス	122名 (事務局含)

3) 後援事業

名 称	開 催 日	場 所	備 考
第44回 二宮忠八翁 飛行記念大会	2019.04.29	愛媛県八幡浜市 市民スポーツパーク	悪天候により 中止
第42回 鳥人間コンテスト 選手権大会2019	2019.07.27 ～28	滋賀県彦根市 松原水泳場周辺	来場者数 40,000人
2019 北海道スカイスポーツ フェア イン 当麻	2019.07.21	北海道上川郡 「当麻スカイパーク」	入場者数 3,000人
第46回北海道バルーン フェスティバル	2019.08.10～12	北海道河東郡上士幌町	観客数 25,000人
埼玉スカイ・スポーツ・フェスタ2019	2019.10.20	埼玉県熊谷市 妻沼滑空場	台風の影響に より中止
第33回RC航空ページェント	2019.11.3	栃木県太田市 尾島RCスカイポート	来場者数 38,000人
第44回おぢや風船一揆	2020.2.22～23	新潟県小千谷市西中会	来場者数 11,000人

4) 協力事業

名 称	開 催 日	場 所	備 考
空まつり2019	2019.11.24	千葉県野田市 野田市スポーツ公園	台風の影響に より中止

別表6 表彰事業（協会賞・FAI賞）詳細

1. 令和元年度 日本航空協会賞 受賞者一覧

(1) 航空亀齢賞

<長年にわたり航空の発展に尽力され、且つ数え年90歳になられた方に長寿を祝福する賞>

<p>おちあい かずお 落合 一夫 氏 (89歳)</p>	<p>長年にわたり日本模型航空連盟の中心としてその運営と発展に尽力され、我が国の模型航空界に多大な貢献をされました。 〔元日本模型航空連盟会長 推薦：日本模型航空連盟〕</p>
<p>こんどう あきお 近藤 秋男 氏 (89歳)</p>	<p>航空創世期から今日の民間航空会社が切磋琢磨する航空業界の構築に尽力されるとともに、我が国の航空界の発展に大きく貢献されました。 〔元全日本空輸（株）代表取締役社長 推薦：全日本空輸（株）〕</p>
<p>はらも たいち 原茂 太一 氏 (89歳)</p>	<p>長年にわたり航空に関する条約および法規などの研究発表を行い、学識の普及により航空に関する文化の発展に貢献されました。 〔青山学院大学名誉教授 推薦：日本空法学会〕</p>
<p>ふたつぎ せつお 二木 節夫 氏 (89歳)</p>	<p>回転翼機プロジェクトおよび航空機の国際共同開発事業において中心的役割を担い、我が国の航空宇宙工業の発展に貢献されました。 〔元カワサキヘリコプタシステム(株)代表取締役社長 推薦：(一社)日本航空宇宙工業会〕</p>
<p>みちがみ けいざぶろう 道上 恵三郎 氏 (89歳)</p>	<p>国内の航空需要喚起や新規路線就航に尽力されるとともに、離島路線の充実や国際線進出など民間航空運送事業の発展に多大な貢献をされました。 〔元全日本空輸（株）常務取締役 推薦：全日本空輸（株）〕</p>

(2) 航空文化賞

<航空に関する功績が顕著で、航空界が挙がって表敬を惜しまない者に贈る賞。本賞は、当協会が贈る諸賞のうち、最高位に位置する賞>  
本年度は該当者なし

(3) 航空功績賞

<航空に関する文化、科学技術および事業等の発展に著しく寄与された方またはグループに贈る賞>

<p>いしい きよし 石井 潔 氏 (66歳)</p>	<p>我が国独自技術による宇宙開発の推進および純国産ジェットエンジンの実現に多大な貢献をされました。 〔元（株）IHIエアロスペース代表取締役会長 推薦：(一社)日本航空宇宙工業会〕</p>
<p>いしはら けいぞう 石原 敬三 氏 (82歳)</p>	<p>「AIM-Japan」を長年にわたり発行するなど、パイロットと航空管制官の相互理解を促進し、航空の安全文化の実現に向け多大な貢献をされました。 〔元（公社）日本航空機操縦士協会 常務理事 推薦：(公社)日本航空機操縦士協会〕</p>
<p>かわい てるあき 川井 昭陽 氏 (73歳)</p>	<p>ジェット旅客機の国際共同開発事業ならびに国産ジェット旅客機開発事業に尽力されるとともに、民間ジェットエンジン事業および宇宙事業の発展にも多大な貢献をされました。 〔元三菱航空機（株）代表取締役社長 推薦：(一社)日本航空宇宙工業会〕</p>

とや ひろみち 戸矢 博道 氏 (78歳)	官民での経験を活かし、環境が大きく変わる中でエアライン事業改革の推進に卓越した指導力を発揮し、旅客および貨物両分野の民間航空事業の発展に貢献されました。 〔元全日本空輸(株)代表取締役副社長 推薦：全日本空輸(株)〕
-----------------------------	---

(4) 航空特別賞

＜航空の発展、思想の普及啓蒙に顕著な功績があった者またはグループに贈る賞＞  
本年度は該当者なし

(5) 空の夢賞

＜航空、宇宙に対する夢や希望を与え、または明るい話題を提供するなどユニークな貢献をした者またはグループに贈る賞＞  
本年度は該当者なし

(6) 航空スポーツ賞

＜航空スポーツのFAI世界記録を樹立し、又は同世界選手権者となった個人又はグループに贈る賞＞

いとう ひろき 伊藤 寛規 氏 (30歳)	2019年模型航空ラジオコントロールヘリコプター世界選手権優勝 (令和元年8月)
模型航空世界選手権 F3C日本代表チーム	2019年模型航空世界選手権F3Cラジオコントロールヘリコプター 種目団体優勝 (令和元年8月) (団長兼選手：国井 伸也 選手：伊藤 寛規、磯 匡敏)

※年齢は受賞時年齢

2. 国際航空連盟 (FAI) 賞伝達

(1) FAI エア・スポーツ・メダル (The FAI Air Sports Medal)

＜航空スポーツに関連した委員会業務、競技会運営、若年層の教育訓練等に顕著な功績や貢献があった個人又は団体に贈る賞＞

さとう しんいち 佐藤 真一 氏 (58歳)	1992年より秋田スカイフェスタ大会の運営委員長を務め、熱気球の普及振興に貢献した。また、2001年より日本気球連盟の地域組織である東北熱気球協会会長に就任し、後進の育成や、安全飛行の環境整備にも貢献した。 〔推薦：日本気球連盟〕
よしだ ただし 吉田 正 氏 (78歳)	1998年より日本グライダークラブの理事長を務め、パイロットの技量向上を目的とした国内競技会大会 (On Line Contest含む) や異常姿勢からの回復訓練 (EMFT) の開催、国際競技会参加選手の支援に貢献した。また、1988年より操縦教官として後進の育成や、整備士としてグライダーの安全確保にも貢献した。 〔推薦：(公社)日本滑空協会〕
うえやま けんいち 上山 憲一 氏 (66歳)	ラジオコントロール (以下「RC」) 電動グライダーの日本選手権で5回優勝し、2012年にはRC充電式電動飛行機で周回コース速度の世界記録を樹立した。また、RC電動飛行機の競技会開催や普及活動にも貢献した。特に2018年アジア初開催となった同競技の世界選手権滝川大会では、競技委員会事務局長として誘致から運営に至るまで大会開催に貢献した。 〔推薦：日本模型航空連盟〕

<p>あさひ かずひろ 朝日 和博 氏 (69歳)</p>	<p>1977年より愛好者団体の設立に尽力し、1982年より日本ハンググライダー連盟（現公益社団法人日本ハング・パラグライダー連盟）の会長等の役職を務め、組織作りと改革に貢献した。また、1977年ハンググライダー（クラス1）日本選手権で優勝し、1998年よりハンググライダー教員として後進の育成にも貢献した。 [推薦：(公社)日本ハング・パラグライダー連盟]</p>
---------------------------------------	---

※ 年齢は受賞時年齢